リバーフレンドシップ調印式

平成19年5月23日　藤枝市役所

中日新聞

地域挙げ川の環境保全

県や市と「リバーフレンドシップ」

藤枝市内5団体　同意書に調印

同意書に調印する（左から）松野市長、川崎哲次泉町町内会長、木村島田土木事務所長＝藤枝市役所で

藤枝市内を流れる瀬戸川、栃山川の環境保護と美化活動に取り組んでいる町内会など市内五団体が二十三日、県や市と「リバーフレンドシップ」の同意書に調印した。

同制度は、河川環境の保全について河川管理者の県、地元自治体、地域の三者が同意書を取り交わし行政が地域の活動を支援する協働事業。市内では初めての締結となる。

この日、市役所で行われた調印式には、各団体の代表と、木村忠幸・県島田土木事務所長、松野輝洋市長、関係自治会役員ら二十六人が出席。三者が同意書に調印、取り交わした後、木村所長が各団体から要望があった草刈り機や脚立など支援物資の目録をそれぞれの代表に手渡した。

最後に各団体代表が「地域を挙げて川の環境を守っていきたい」「市民が癒やしを感じる川にしていきたい」などと抱負を話した。

（土屋祐二）

リバーフレンドシップを締結したのは次の団体。

植える花夢倶楽部・瀬戸谷温泉運営協議会、弥左衛門町内会、泉町町内会、大東町北町内会、ナナミの木クラブ

静岡新聞

2河川郷土の宝に

リバーフレンドシップ調印　住民、行政が協働保全

藤枝

同意書に調印する行政と住民団体の代表者＝藤枝市役所

藤枝市を流れる瀬戸川と栃山川の美化活動を推進するために、島田土木事務所と藤枝市、地元の六住民団体は二十三日、市役所で「リバーフレンドシップ」の同意書を取り交わした。

リバーフレンドシップは住民と行政による協働事業で、地元住民が「川の友達」となり、川の清掃や堤防の除草などを行い、身近な環境保護への意識高揚を図る。行政は必要な物品の支給や保険の加入などで支援する。県内ではこれまでに六十四団体が行政と同意書を締結している。

今回同意したのは、本郷地区の植える花夢倶楽部（ウエルカムクラブ）、瀬戸谷温泉運営協議会、大洲地区のナナミの木クラブ、大東町北町内会、弥左衛門町内会、泉町町内会。本郷地区の二団体は瀬戸谷中―瀬戸谷温泉ゆらくの瀬戸川左岸八百㍍、大洲地区の四団体は栃山川の広切橋―弥作橋約三千㍍を担当する。

同意書の調印式には、島田土木事務所の木村忠幸所長、松野輝洋市長、各団体の代表者が出席し、署名・押印した。同事務所から草刈り機やかまなどの目録が授与された。

木村所長は「みんなの川をみんなで守っていく活動の輪を広めてほしい」と要望。植える花夢倶楽部の中村茂代表は「瀬戸川を含め、地域全体が一つの公園になれば」、ナナミの木クラブの小松剛志代表は「栃山川を地域の財産として大事に育てていきたい」と話した。